

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の実業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

2015年2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ』で実施する子どもの権利擁護センター事業をケースワーク事業の中心事業の一つに位置づけた。今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）予防教育事業は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響で実施できなかった。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japanも2014年度にChildFirst™司法面接プロトコルをChildFirst®司法面接プロトコルに改訂し、今年度も司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の事業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理する。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型ChildFirst®司法面接研修とセンター型RIFCR™研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型ChildFirst®司法面接研修と出前型RIFCR™研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業として実施した。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けて実施した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力する事業だが、令和3年度の実施はなかった。

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター（CAC）かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム（MDT：Multidisciplinary Team）の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 令和3年 9月 8日(水) 午後
令和4年 2月16日(水) 午前
令和4年 2月16日(水) 午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として水曜日午後に1人ずつ

ウ 子どものこころとからだのクリニック事業

- ・内 容 児童精神科診療を開始するに当たって、電子カルテ等の初期投資費用および数ヶ月間の運転資金を、寄附金等によって調達でき次第、『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』（旧『子どもの権利擁護センターかながわ内診察室』）において、虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療を開始する計画だが、資金調達がかなわず、令和3年度は開始できなかった。
- ・日 時 毎週月曜日午前・午後、火曜日午後、水曜日午前、木曜日午後（午前の診療時間は午前10時～午後1時、午後の診療時間は午後2時～午後5時）
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトを受け、治療が必要な子どもたち

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政に提言する事業だが、今年度は該当事例がなかった。

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日 時 第91回 令和3年 5月22日(土)（講師；CFJ 理事長 山田 不二子）
第92回 令和3年 9月25日(土)（講師；菊地 祐子医師）
第93回 令和3年12月11日(土)（講師；CFJ 理事 溝口 史剛医師）
第94回 令和4年 2月26日(土)（講師；CFJ 理事長 山田 不二子）
計4回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、
ラジオ日本クリエイト 貸会議室、
Zoomによるオンライン
- ・従事者人員 約10人
- ・参加者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
各回26名～81名
(延べ224名；会員38名、非会員176名、学生10人)

イ 在宅支援技術研修

- ・内 容 「子育て世代包括支援センターと地域子ども家庭総合支援拠点」をテーマとして、市区町村職員（児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV 担当、教育委員会等）民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間が互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ研修を実施した。
- ・日 時 令和3年 6月20日(日)
令和3年 8月21日(土)
令和3年10月17日(日)
令和3年12月12日(日)
令和4年 2月20日(日)
- ・場 所 神奈川県総合医療会館、ラジオ日本クリエイト 貸会議室、
神奈川県歯科大学附属横浜クリニック 横浜研修センター 6階教室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人
- ・参加者 16名（正会員2名、賛助会員4名、非会員10名）

ウ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内 容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設した。
- ・日 時 令和3年6月～10月
基礎講座 2時間30分×4回（6月3日、7月1日、8日、29日）
講師；理事長 山田 不二子
実践講座 3時間×3回（8月4日、18日、25日）
指導者；この法人の電話相談員6人
応用講座 2時間30分×4回
講師；理事長 山田 不二子
9月2日、9日、30日、10月7日に予定していたが、参加者がいなかったため、令和3年度は応用講座を実施しなかった。
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対象者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参加者 基礎講座7人、実践講座1人、応用講座0人

エ 「CAC かながわ」 ケース・カンファレンス

- ・内 容 「子どもの権利擁護センター (CAC) かながわ」 で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指すために適宜実施することとしているが、当法人の司法面接者の技術が十分に向上しているため、令和3年度は実施する必要がなかった。

オ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修。本来の定員は40人だが、COVID-19 対策のため、今年度は借りた会場の収容数の半数を研修受講定員とした。
- ・日 時 横浜会場 (神奈川県総合医療会館、ラジオ日本クリエイト 貸会議室、横浜ワールドポーターズ イベントホール)
 - 令和3年 5月15日(土) 参加者：28名
 - 令和3年 9月 5日(日) 参加者：22名
 - 令和3年10月16日(土) 参加者：37名
 - 令和4年 1月23日(日) 参加者：30名
 - 令和4年 2月19日(土) 参加者：35名
 - 令和4年 3月19日(土) 参加者：32名名古屋会場 (ウインクあいち)
 - 令和3年 9月25日(土) 参加者：34名
 - 令和3年11月 6日(土) 参加者：34名三重会場 (じばさん三重)
 - 令和3年 7月11日(日) 参加者：38名大阪会場 (エル・おおさか 大阪府立労働センター)
 - 令和4年 2月26日(土) 参加者：34名
 - 令和4年 2月27日(日) 参加者：28名
- ・場 所 神奈川県総合医療会館、ラジオ日本クリエイト 貸会議室、横浜ワールドポーターズ イベントホール、ウインクあいち、じばさん三重、エル・おおさか
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3~4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回22~38名 (延べ352名)

カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接 (調査・捜査のための聞き取り) の研修。研修プロトコルは、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコル。
- ・日 時 第1回 ; 令和3年 7月14日(水)~18日(日) 参加者：20名
第2回 ; 令和3年12月15日(水)~19日(日) 参加者：20名
第3回 ; 令和4年 1月 6日(木)~10日(月) 参加者：20名

- 第4回；令和4年 3月 2日(水)～ 6日(日) 参加者：20名
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室・1階 面接室と観察室、伊勢原シティプラザ、プロミティあつぎ
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）8人
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・参 加 者 各回20名（延べ80名）

キ ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内 容 「拡大司法面接」とは、1回の司法面接を複数のセッションに分けて実施する司法面接を指す。子どもの注意の持続時間が短いため、被害の詳細を1回のセッションでは聞き取れないような場合、あるいは、被害がたくさんあって、1回のセッションでは聞き切れないため、複数のセッションに分ける必要が生じる場合に適応されるのが拡大司法面接である。拡大司法面接を実施するには配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、3日間(原則として9時～18時)連続で研修。
- ・日 時 令和3年6月23日(水)～25日(金) 参加者：23名
令和4年1月28日(金)～30日(日) 参加者：23名
- ・場 所 ラジオ日本クリエイティブ貸会議室、
神奈川工科大学ITエクステンションセンター 貸会議室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、または、RATAC® 司法面接研修の受講者40名
- ・参 加 者 各回23名（延べ46名）

ク ChildFirst® 司法面接ピア・レビューアー養成研修

- ・内 容 司法面接に関するピアレビューアーの育成をする2日間研修。
- ・日 時 令和3年6月26日(土)～27日(日)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子他 CF-J 司法面接ファカルティ
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、または、RATAC® 司法面接研修の受講者8名
- ・参 加 者 8名

ケ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム（MDT）を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター（CAC）の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指し、1日型と2日型の2つのコースを設けて実施した。
- ・日 時 1日型：

令和3年6月13日(日) 参加者：7名
令和3年9月26日(日) 参加者：8名
令和4年2月6日(日) 参加者：10名

2日型：

令和3年7月31日(土)～8月1日(日) 参加者：6名
令和3年10月23日(土)～24日(日) 参加者：9名

計5回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員12人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者および
MDT コア・メンバーとなる職種（児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員）、
各回定員12人
- ・参 加 者 各回6～10名（延べ40名）

④ 啓発事業

ア 学術集会

- ・内 容 JaSPCAN 第27回学術集会かながわ大会 スポンサー・セッションとして
第23回子ども虐待防止シンポジウムを開催した。
テーマ；『虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)』の刑事司法手続き
当法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行った。
経理は「令和3年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
- ・日 時 令和3年12月5日(日)
- ・場 所 パシフィコ横浜ノース
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・等の関係者、
現地参加約80人、オンデマンド配信アクセス数767件
- ・海外講師 フロリダ国際大学 法学部 教授 ジョエル・アン・モレノ氏
(Prof. Joelle Anne Moreno)
- ・日本人講師 座長；山田 不二子理事長、講師；溝口 史剛理事
- ・従事者人員 12～15名

イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 今年度のパネル・ディスカッションは、上記「JaSPCAN 第27回学術集会
かながわ大会 スポンサー・セッション」の中で実施した。

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）予防教育事業

- ・内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶら
れ症候群（SBS）予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予
防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力
することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図る予定であった

が、COVID-19の影響で令和3年度の実施はなかった。

エ ニューズレターの発行

- ・内 容 令和3年度はニュースレターを発行しなかった。
- ・日 時 年0回
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対 象 者 この法人の会員等、約300人

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）第27回学術集会かながわ大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 令和3年12月4日(土)～5日(日)
- ・場 所 パシフィコ横浜ノース
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第27回学術集会かながわ大会の参加者

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回（原則として月・水曜日）午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数36件（新規21件）

②研究・研修事業

ア 「虐待相談かながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日午後6時～

8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
令和3年4月5日(月)、21日(水)、5月10日(月)、19日(水)、
6月21日(月)、7月5日(月)、21日(水)、10月4日(月)、20日(水)、1
1月17日(水)、12月22日(水)

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子 (スーパーバイザー)
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～12人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日時及び場所 令和3年 7月 9日(金)：東京都港区
 - ・招聘元：港区児童相談所
 - ・場 所：港区児童相談所
 - ・参加者：39名令和3年 7月24日(土)：千葉県千葉市
 - ・招聘元：NPO法人千葉性暴力被害支援センターちさと
 - 新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止令和3年 7月30日(金)：神奈川県横浜市
 - ・招聘元：横浜市児童相談所
 - ・場 所：横浜市中央児童相談所
 - ・参加者：38名令和3年 8月 6日(金)：京都府
 - ・招聘元：京都府家庭支援総合センター
 - ・場 所：京都府家庭支援総合センター
 - ・参加者：39名令和3年 8月10日(火)・11日(水)・12日(木)：福岡県福岡市
 - ・招聘元：福岡県福岡市
 - ・場 所：福岡市こども総合相談センター
 - ・参加者：8月10日(火)38名
 - 8月11日(水)40名
 - 8月12日(木)39名令和3年 8月20日(金)：千葉県千葉市
 - ・招聘元：千葉市教育委員会
 - 新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止令和3年 8月27日(金)：神奈川県横浜市
 - ・招聘元：横浜市児童相談所
 - ・場 所：横浜市中央児童相談所
 - ・参加者：39名令和3年 9月 3日(金)：宮城県仙台市
 - ・招聘元：法テラス仙台

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止
令和3年 9月13日(月)：大阪府大阪市

・ 招聘元：法テラス 大阪

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み開催を中止
令和3年10月 9日(土)：北海道函館市

・ 招聘元：函館中央病院

・ 場 所：亀田交流プラザ

・ 参加者：38名

令和3年10月22日(金)：東京都港区

・ 招聘元：港区児童相談所

・ 場 所：港区児童相談所

・ 参加者：39名

令和3年10月30日(土)：愛知県名古屋市

・ 招聘元：名古屋SANE

・ 場 所：ウインクあいち 愛知県産業労働センター

・ 参加者：40名

令和3年12月24日(金)：福岡県福岡市

・ 招聘元：法テラス 福岡

・ 場 所：(株)リファレンス大博多ビル貸会議室

・ 参加者：23名

令和3年12月26日(日)：群馬県前橋市

・ 招聘元：前橋赤十字病院

・ 場 所：前橋赤十字病院 講堂

・ 参加者：37名

令和4年 2月13日(日)：東京都江東区

・ 招聘元：女性の安全と健康のための支援教育センター

・ 場 所：東京有明医療大学

・ 参加者：17名

令和4年 2月27日(日)：福岡県福岡市

・ 招聘元：福岡 犯罪被害者支援センター

・ 場 所：吉塚合同庁舎

・ 参加者：26名

令和4年 3月12日(土)：兵庫県尼崎市

・ 招聘元：兵庫県立尼崎総合医療センター

・ 場 所：兵庫県立尼崎総合医療センター

・ 参加者：37名

令和4年 3月13日(日)：山口県下関市

・ 招聘元：チャイルドラインしものせき

・ 場 所：しものせき環境みらい館

・ 参加者：26名

・ 講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3～4人

- ・対象者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参加者 各回17名～40名（延べ555名）

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム（MDT：Multidisciplinary Team）で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築した。
- ・日時 令和3年9月16日(木)～20日(月)
- ・場所 京都府警察本部 京都府家庭支援総合センター
- ・講師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）7人
- ・対象者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・参加者 20名

エ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム（MDT）を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター（CAC）職員等を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指して実施した。
- ・日時及び場所 令和3年 9月11日(土)
 - ・招聘元：横浜市中心児童相談所
 - ・場所：横浜市中心児童相談所
 - ・参加者：30名
- 令和3年12月13日(月)
 - ・招聘元：港区児童相談所
 - ・場所：港区児童相談所
 - ・参加者：26名
- 令和4年 1月16日(日)
 - ・招聘元：港区児童相談所
 - ・場所：港区児童相談所
 - ・参加者：27名
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・従業者人員 1～3人
- ・対象者 招聘元が招集した参加者
- ・参加者 各回26～30名（延べ83名）

オ 『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・内容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修

- ・日 時 令和3年11月4日
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・参加者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
- 読売新聞大阪支社：取材協力
令和3年 4月22日
- 横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師
令和3年 6月14日
- 慶福育児会 麻布乳児院：院内研修会 講師
令和3年 9月 2日
- 山梨県中央児童相談所：新任職員向け研修 講師
令和3年 9月10日
- 日本ソーシャルワーカー連盟：子ども虐待の予防と対応研修 講師
令和3年 9月23日
- 兵庫県中央こども家庭センター：兵庫県児童福祉司任用後研修 講師
令和3年 9月28日・29日
- 横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」 講師
令和3年10月18日
- 国立保険医療科学院：中堅職員研修 講師
令和3年11月11日
- 荒川区立第五中学校：校内研修会兼学校保健委員会 講師
令和4年 1月15日
- 慶福育児会 麻布乳児院：院内研修会 講師
令和4年 2月 3日
- 社会福祉法人 雲柱社：こども関連機関 虐待予防研修 講師
令和4年 2月 4日
令和4年 2月 9日

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣した。
- ・日 時 令和3年 6月30日(水)
- ・場 所 港区児童相談所
- ・派遣者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従業者人員 1～3人

- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

④アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 中野区役所

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、令和3年度は、チャリティー・パーティーを行わなかった。
- ・日 時 0回
- ・従業者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員